③個人追究:図に線を引き長方形と正方形に分けたり，はみ出た部分を動かして長方形にしたりして追究する。

②学習課題:公式が使えるように長方形や正方形に変えて面積を求め，求め方を説明しよう。

②見通し:長方形や正方形ではないから，公式が使えない。

　　　　→長方形や正方形に変形できれば，公式が使える。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・公式を用いて長方形，正方形の面積を求めることができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・4年「角とその大きさ」で，角を2つに分けることで、180°より大きい角を求める学習をしている。

≪学習問題≫

右の図形の面積を求めましょう。

教材研究ノート№4-B-4

2cm

3cm

(7+2+2)×3＝33

3cm

5cm

3cm

6cm

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・導入で「知らない図形であり，このままでは公式を使って面積を求めることができない」ことに気付かせることで，本時の困難と見通しをもたせ，終末で補助線を引いたり，動かしたりするよさを実感させたい。

・いろいろな方法があるので，図と式を丁寧に対応させながら，図や式を使って自分の考えを説明する活動を取り入れたい。

⑥定着問題

　右の図形の面積を

求めました。どのよ

うに考えて求めたの

か説明しましょう。

③個人追究:

④共同追究後半（思考を深める）

「面積を分けたり合わせたりしてもいいのかな？」

→「線を引いて，2つの長方形にしているから，分けたり合わせたりすることができる。」

　「動かして形は変わっても大きさは変わらないから，動かして考えることができる。」

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの求め方にも共通していることはなんだろう？」

→「長方形や正方形を見つけたり作ったりして求めている。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・長方形や正方形のような，知っている図形にすれば，公式を使って面積を求めることができる。

・面積は，分けたり合わせたりできる。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫